

令和3年度南薩地区子ども会安全教育研修会・創作活動大会  
(子ども会指導者・育成研修会(書面開催)) 南さつま市大会  
令和3年12月4日(土)

南さつま市民会館大ホールで、地区内の子ども会員及び育成者・指導者等76人が参加して開催されました。

大会は、参加人数を制限したり、会場を広いホールで実施したり、健康チェック表を活用したりしながら、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施されました。

まず、県優良少年少女団体表彰として、枕崎市の大堀子ども会、南さつま市の武田上子ども会の2団体に、それぞれ賞状が伝達されました。

次に、安全教育研修会では、満永真理氏に講師をしていただき、「子ども会活動を安全・安心に実施するために」というテーマで、KYT(危険予知トレーニング)の研修を実施しました。子供たちは、KYT教材の絵を見ながら、危険を見付け、危険を回避するには、どうすればいいかを考えていました。また、安全を確保する上で、小学生、中学生、高校生などそれぞれの役割で対策を考える大切さを感じていたようです。

創作活動大会では、クリスマスが近づいていることから、サンタクロースマトリョーシカのペーパークラフトを作成しました。子供たちは、はさみやカッターを上手に使い、楽しそうに活動していました。

子ども会指導者・育成研修会(書面開催)については、金峰地区の子ども会の取組について紙上発表することで、今後の子ども会の活動の参考となりました。

親子ともに、安全を学び、楽しい創作活動になりました。



【感染症対策のため大ホールで実施】



【親子でKYTトレーニング】



【ペーパークラフト創作活動】



【作成したサンタクロースのマトリョーシカ】